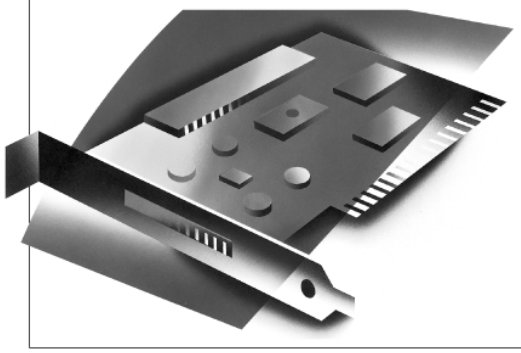
PowerDomain x9160x IG.fm 0 ページ ２００２年３月２６日 火曜日 午後７時６分

Adaptec PowerDomain 29160/29160N/39160

インストール ガイド



adaptec®

PowerDomain x9160x IG.fm 1 ページ ２００２年３月２６日 火曜日 午後７時６分

安全にお使いいただくために

この度は Adaptec PowerDomain 29160/29160N/39160 をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本製品は精密な製品です。正しくお使い頂くために、ご使用前に必ず本章をお読みください。パソコン本体の故障や、取り扱いの誤り、また、本書の記載に添わない使用によって生じた故障は弊社の保証の対象外となりますのでご了承ください。

警告：

- 本製品の取り付け及び取り外しの際には、必ずパソコン本体や周辺機器の電源を切り、電源ケーブルをはずしてから行って下さい。電源を入れたまま作業を行うと、感電や故障の原因になります。
- 取り付け及び取り外しの最中に雷が鳴り出したら、直ちに作業を中止して下さい。落雷による感電の恐れがあります。

取り扱いに関する注意

- 水で濡れた手で本製品に触らないで下さい。感電や故障の原因になります。
- 本製品を火気に近づけたり、火中に投じたりしないでください。

PowerDomain x9160x IG.fm 2 ページ ２００２年３月２６日 火曜日 午後７時６分

- 本製品を分解、改造したりしないでください。弊社の保証の対象外になります。
- 本製品のコネクタ部分を直接手で触れないようにしてください。コネクタ部分をいためると故障の原因になる場合があります。
- 本製品に直接強い衝撃を与えたり、投げつけたり、落としたりしないでください。
- 強い磁気を発する製品の側では使用しないでください。
- 本製品を保管する場合は、湿気、ほこり、振動などの多いところは避けて下さい。
- 本製品を高温や直射日光のあたる場所での使用や保管はしないでください。
- 本製品はお子様の手の届かない場所に保管して下さい。お子様のけがの原因になることがあります。

PowerDomain x9160x IG.fm 3 ページ ２００２年３月２６日 火曜日 午後７時６分

ドライバのインストール

PowerDomain カードや SCSI 機器を取り付ける前に、オペレーティング システムに対応したドライバをインストールする必要があります。

ドライバのインストール – Mac OS 9.x

Mac OS 9.x 対応のドライバはカードに組み込まれています。ドライバをインストールする必要はありません。

ご使用の PowerDomain カードのユーザ登録をするには、http://www.adaptec.co.jp/register にアクセスしてください。インターネットに接続する環境がなければ、パッケージに付属のユーザ登録はがきにご記入の上返送ください。

ドライバのインストール – Mac OS X

Mac OS X の初期リリース (たとえば、Mac OS X 10.0 から Mac OS X 10.0.4) には、ドライバは組み込まれていませんので、ドライバをインストールする必要があります。

ドライバをインストール (またはアップデート) する前に、次の事項を確認してください。

- ユーティリティの中には Mac OS X とは互換性のないものがあります。最新情報は、アダプテックの Web サイト (http://www.adaptec.co.jp) を参照してください。
- 管理者としてログインします (管理者名とパスワードの入力を求められます)。
- /System/Library/Extensions 以下のいずれかのディレクトリのアクセス権を変更した場合は、インストーラを実行しないでくださ

い。ドライバがこれらのディレクトリを上書きする場合があります。また、これらのディレクトリのいずれかをシンボリック リンク (Mac OS 9 のエイリアスに相当) としてセットアップした場合も、インストーラを実行しないでください。システムが正しく機能しなくなる場合があります。

ドライバをインストールまたはアップデートするには、次の操作を行います。

1 PowerDomain CD の Mac OS X フォルダを開き、右の図に示すようなインストーラ アイコンをダブルクリックします。(PowerDmain 39160 の場合は、Adaptec39160.pkg です)

2 画面に表示される指示に従って操作を行います。

PowerDomain ドライバが、システム ディスクの System/Library/Extensions フォルダにインストールされます。インストールされたドライバの拡張子は .kext です。

3 PowerDomain カードのユーザ登録をするには、http://www.adaptec.co.jp/register にアクセスしてください。インターネットに接続する環境がなければ、パッケージに付属のユーザ登録はがきにご記入の上返送ください。

PowerDomain カードの取り付け

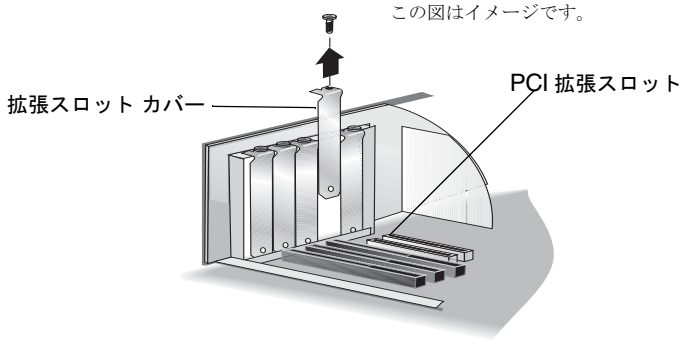
PowerDomain カードを取り付けるには、次の操作を行います。

1 コンピュータの電源を切り、電源コードを抜きます。アースされた金属に触れて体内の静電気を放電させます。

2 コンピュータのメーカの取扱説明書に従って、コンピュータのカバーを取り外します。

3 コンピュータに未使用の PCI 拡張スロットがあることを確認します。拡張スロット カバーのねじを外し、下図のように、スロット カバーを取り外してスロットを開けます。

この図はイメージです。

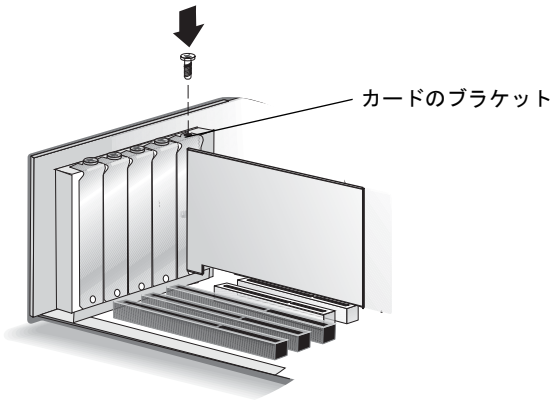


4 帯電防止用の袋に入っている PowerDomain カードを取り出します。カードを取り扱う際は、金メッキされている接点やカード上の

部品に触れないように、*必ず*カードの端の部分を持つようにしてください。

5 PowerDomain をスロットに合わせ、コネクタの先端部が完全に固定されるまでしっかり押し込みます。

6 ステップ 3 で取り外したねじで、カードのブラケットを固定します。



PowerDomain x9160x IG.fm 7 ページ ２００２年３月２６日 火曜日 午後７時６分

SCSI 機器の接続の前に

SCSI 機器を接続する前に、必ず下記の確認をします。

- SCSI ID を調べます。PowerDomain カードと、カードに接続する各 SCSI 機器に、0 から 15 までの固有の SCSI ID が割り当てられていることを確認します (PowerDomain 39160 ではチャネルごとに 15 台までの機器をサポートできます。各機器には 1 から 15 までの固有の SCSI ID を割り当てる必要があります)。
- SCSI バスの両端をターミネートさせます。各ケーブルの最後の SCSI 機器またはケーブル自体の終端に、ターミネータを取り付ける (有効にする) 必要があります。SCSI ケーブルの途中に接続する SCSI 機器では、ターミネータを無効にする (取り外す) 必要があります。
- ハードディスクや CD-ROM ドライブ以外の SCSI 機器を使用する場合は、機器メーカの専用ドライバのインストールが必要な場合があります (お使いの機器の取扱説明書を参照してください)。
- どの機器をどの SCSI コネクタに接続するかを計画します。詳細は、次の項 (「*PowerDomain コネクタの概要*」) を参照してください。

PowerDomain コネクタの概要

PowerDomain カードは、新しい高速の LVD SCSI 機器と低速 (非 LVD 方式) の SE SCSI 機器の両方をサポートしています。転送速度にかなりの差 (20 MB/sec から最大 160 MB/sec) があるため、機器を正しく取り付け、接続することが重要になります。

LVD SCSI 機器を最大の転送速度で動作させるために、次のように接続することをお勧めします。

PowerDomain x9160x IG.fm 8 ページ ２００２年３月２６日 火曜日 午後７時６分

- **PowerDomain 29160/29160N カード**—LVD SCSI 機器のみを LVD コネクタに接続し、非 LVD の SCSI 機器はすべて Fast/Ultra コネクタに接続します。

  非 LVD の SCSI 機器を LVD コネクタに接続した場合、そのコネクタに接続されたすべての機器が、非 LVD と同じ低速で動作します。

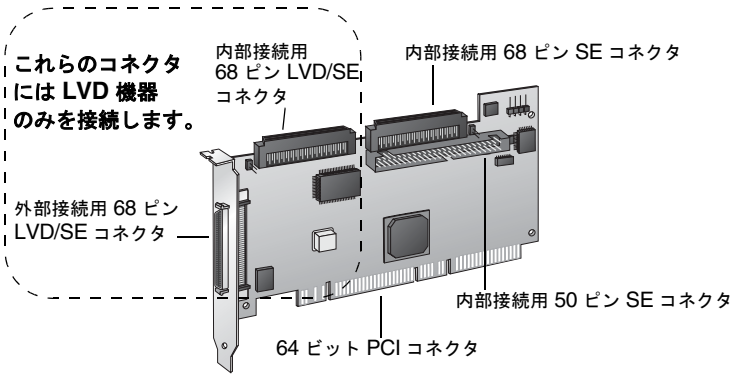
- **PowerDomain 39160 カード**—LVD 機器と非 LVD 機器は別のチャネルに接続します。

  LVD と非 LVD 機器を 1 つのチャネルに接続した場合、すべての機器が、非 LVD と同じ低速で動作します。

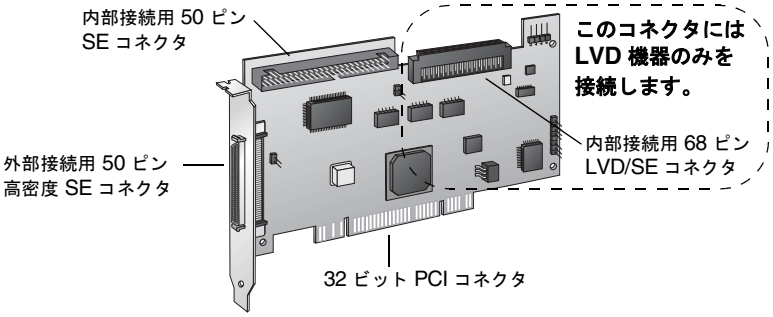
次の図は、PowerDomain カードの各 SCSI コネクタと、どのコネクタを LVD SCSI 機器のみに使用すればよいかを示しています。

PowerDomain x9160x IG.fm 9 ページ ２００２年３月２６日 火曜日 午後７時６分

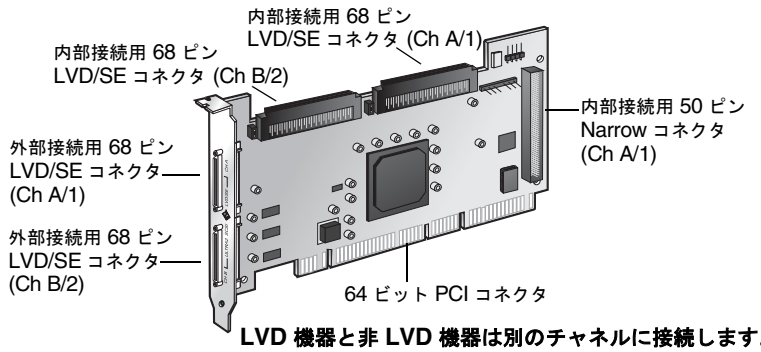
PowerDomain 29160



PowerDomain 29160N



PowerDomain 39160



LVD 機器と非 LVD 機器は別のチャネルに接続します。

PowerDomain x9160x IG.fm 11 ページ ２００２年３月２６日 火曜日 午後７時６分

内蔵 SCSI 機器の取り付け

各内蔵 SCSI 機器の事前設定を行います。詳細は、7 ページの「*SCSI 機器の接続の前に*」を参照してください。

以降の項の説明に従って、LVD および非 LVD (Fast/Ultra-SE、SE、Narrow) の SCSI 機器を取り付けます。それぞれの機器に適切なコネクタとケーブルを使用します。

PowerDomain カードの接続には次のような制限事項があります。

- **PowerDomain 29160/29160N—**PowerDomain 29160/29160N には、SCSI 機器を 15 台まで接続できます。PowerDomain カードのすべての SCSI コネクタに同時に接続できます。
- **PowerDomain 39160—**PowerDomain 39160 には、SCSI 機器を 30 台 (チャネルごとに 15 台) まで接続できます。ただし、チャネル A/1 のコネクタは、任意の 2 つを組み合わせて使用し、3 つすべてを同時に使用しないでください。

外付け機器のみを接続する場合は、14 ページの「*インストールの完了*」に進みます。

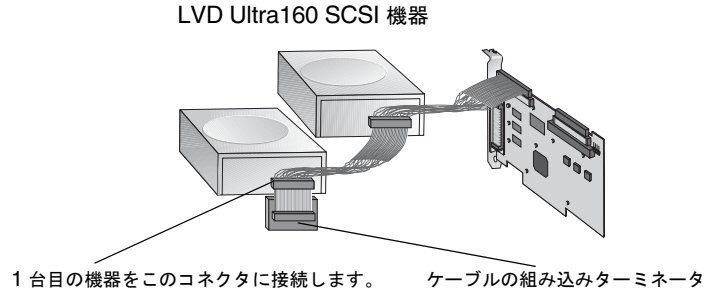
PowerDomain x9160x IG.fm 12 ページ ２００２年３月２６日 火曜日 午後７時６分

LVD SCSI 機器の取り付け

LVD の内蔵 SCSI 機器を取り付けるには、次の操作を行います。

1 ケーブルのターミネートされていない方の端を、PowerDomain カードの LVD/SE SCSI コネクタに接続します。

2 残りのコネクタと、LVD の内蔵 SCSI 機器を接続します。



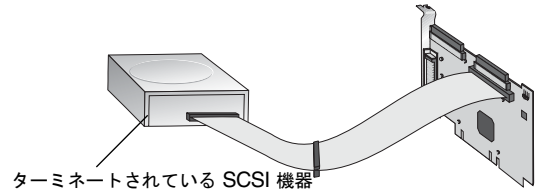
メモ：SCSI バスのターミネーションは、LVD SCSI ケーブルの終端にあるターミネータにより有効になります。

非 LVD SCSI 機器の取り付け

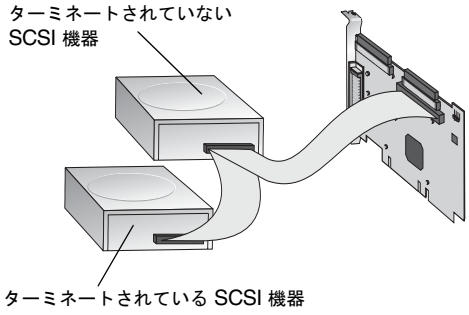
非 LVD の内蔵 SCSI 機器を取り付けるには、次の操作を行います。

1 ケーブルの一方の端を、PowerDomain カードの適切な SCSI コネクタに接続します。

2 ケーブルの反対側の端を、ターミネートされている非 LVD の内蔵 SCSI 機器に接続します。



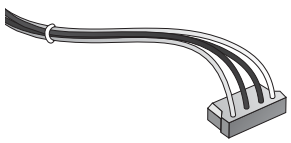
3 もう 1 台、非 LVD の内蔵 SCSI 機器を接続する場合には、ケーブルの途中にあるコネクタで接続します。この機器はターミネートしないでください。



PowerDomain x9160x IG.fm 14 ページ ２００２年３月２６日 火曜日 午後７時６分

インストールの完了

内蔵 SCSI 機器のインストールを完了するには、次の操作を行います。



1. 右の図に示すような、コンピュータの内部電源につながっている電源ケーブルを各内蔵 SCSI 機器に接続します。
2. コンピュータにカバーを取り付けます (お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください)。
3. 電源ケーブルを、コンピュータと接続したすべての外付け機器に接続し、これらのケーブルを電源コンセントに差し込みます。外付け機器の電源をすべて入れてから、コンピュータの電源を入れます。

   外付け SCSI 機器を接続する場合は、パッケージに同梱されている PowerDomain CD の『*PowerDomain ユーザーズ ガイド*』を参照してください。

PowerDomain x9160x IG.fm 15 ページ ２００２年３月２６日 火曜日 午後７時６分

Adaptec, Inc.
691 South Milpitas Boulevard
Milpitas, CA 95035 USA

© 2002 Adaptec, Inc.
All rights reserved.Adaptec とアダプテックのロゴは Adaptec, Inc. の登録商標です。

Stock Number: 513049-03JA, Rev. A

Printed in Singapore